

平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浅 田 俊 一
(コード番号 8439 東証 1 部)
問 合 せ 先 広 報 I R 室 長 正 円 雅 章
(TEL 03-5209-6710)

2011 年 3 月期決算の概要について

本日発表の 2011 年 3 月期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2011 年 3 月期決算の概要

- ・当連結会計年度におきましては、国内営業部門の再編によりソリューション営業力を強化する一方、アジアネットワークの拡充、株式会社 I H I ファイナンスサポートの連結化など営業基盤の強化を図った結果、以下のとおりとなりました。
- ・事業の成果としましては、契約実行高は前期比 43.2%増の 8,939 億円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比 4.5%増の 2 兆 498 億円となりました。
- ・損益面につきましては、売上高は前期比 6.0%減の 7,132 億円となりましたが、営業利益は同 35.4%増の 410 億円、経常利益は同 32.2%増の 442 億円、当期純利益は 7.4%減の 237 億円となりました。なお、当期純利益の減少は、前期に計上した貸倒引当金戻入益がなくなったことや税金費用が増加したことによります。

2. 財務ハイライト（連結）

						単位：億円			
		2010/3期	2011/3期	前期比 増減額	前期比 増減率	2011/3期業績予想 (11/3.7公表)		達成率	
売	上	7,586.7	7,131.8	-454.9	-6.0%	7,100.0	100.4%		
	（契約実行高）	6,241.8	8,938.9	2,697.1	43.2%				
営	業	303.0	410.3	107.4	35.4%	385.0	106.6%		
経	常	334.1	441.7	107.6	32.2%	420.0	105.2%		
当	期	255.4	236.5	-18.9	※ -7.4%	225.0	105.1%		
※当期純利益は、前期に計上した訴訟案件の終結に伴う約72億円の利益増加要因が剥落するため7.4%の減少ですが、この特殊要因を除けば29%の増加となります。									
		2010/3末	2011/3末	前期末比 増減額	前期末比 増減率	営業資産増減内訳			
総	資	21,328.9	21,846.0	517.1	2.4%				
	（うち現預金）	316.3	301.0	-15.4	-4.9%				
営	業	19,620.1	20,498.1	878.0	4.5%	リ	ー	ス	
純	資	1,581.2	1,787.5	206.4	13.1%	割	賦		
自	己					ファイナンス			
資	本					計			
比	率	7.1%	7.8%	0.7pt	—	営業保証			
R	O	1.5%	2.0%	0.5pt	—	合計			
R	O	18.5%	14.8%	-3.7pt	—				
※ ROA：総資産経常利益率、ROE：自己資本当期純利益率 ※ 営業資産には営業保証を含みます。									

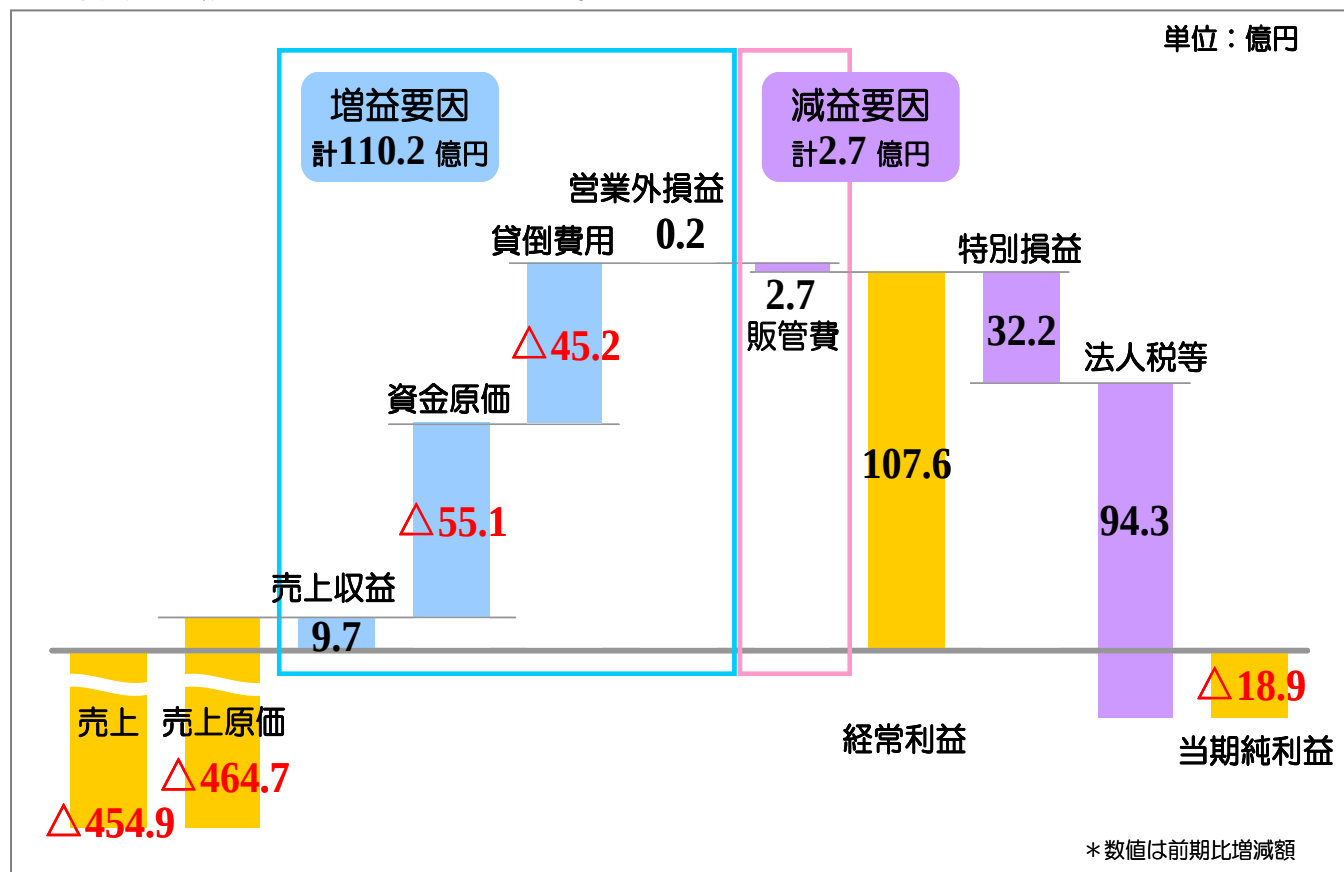
3. 損益の状況（連結）

- ・売上収益が前期比 1.1%増の 861 億円となる一方、資金原価は同 27.6%減の 145 億円、貸倒費用は同 79.9%減の 11 億円となったことなどから、経常利益は同 32.2%増の 442 億円となり過去最高を更新しました。

単位：億円				
	2010/3期	2011/3期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	7,586.7	7,131.8	-454.9	-6.0%
売上原価（除資金原価）	6,735.7	6,271.0	-464.7	-6.9%
うちオペリース貸倒費用 ①	5.7	-1.4	-7.1	—
売上収益	851.1	860.8	9.7	1.1%
資金原価	200.0	144.9	-55.1	-27.6%
売上総利益	651.1	715.9	64.9	10.0%
販売費及び一般管理費	348.1	305.6	-42.5	-12.2%
うち貸倒費用 ②	56.6	11.4	-45.2	-79.9%
営業利益	303.0	410.3	107.4	35.4%
営業外損益	31.2	31.4	0.2	0.5%
経常利益	334.1	441.7	107.6	32.2%
特別損益	-2.5	-34.7	-32.2	—
税金等調整前当期純利益	331.6	407.0	75.4	22.7%
当期純利益	255.4	236.5	-18.9	-7.4%
貸倒費用計 ①+②	62.3	10.0	-52.2	-83.9%

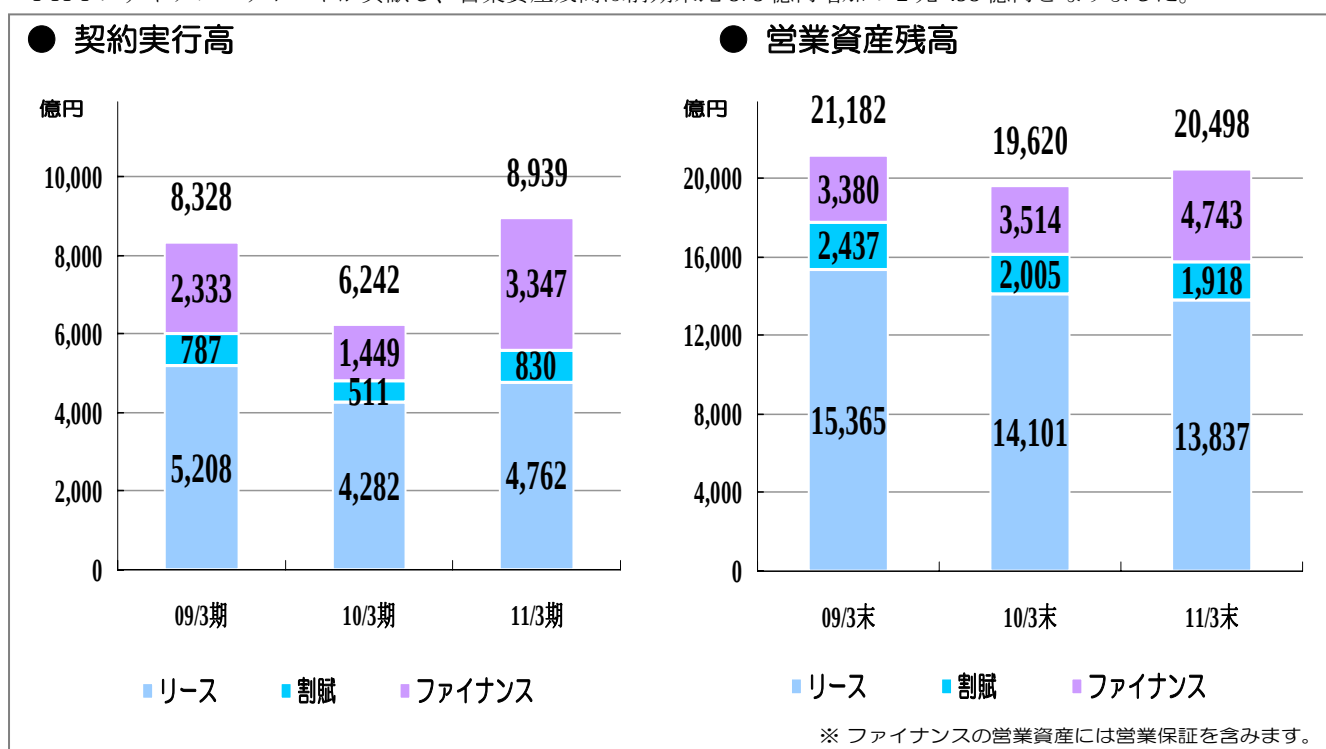
4. 当期純利益の増減要因（連結）

- ・当期純利益の増減要因は以下のとおりとなります。



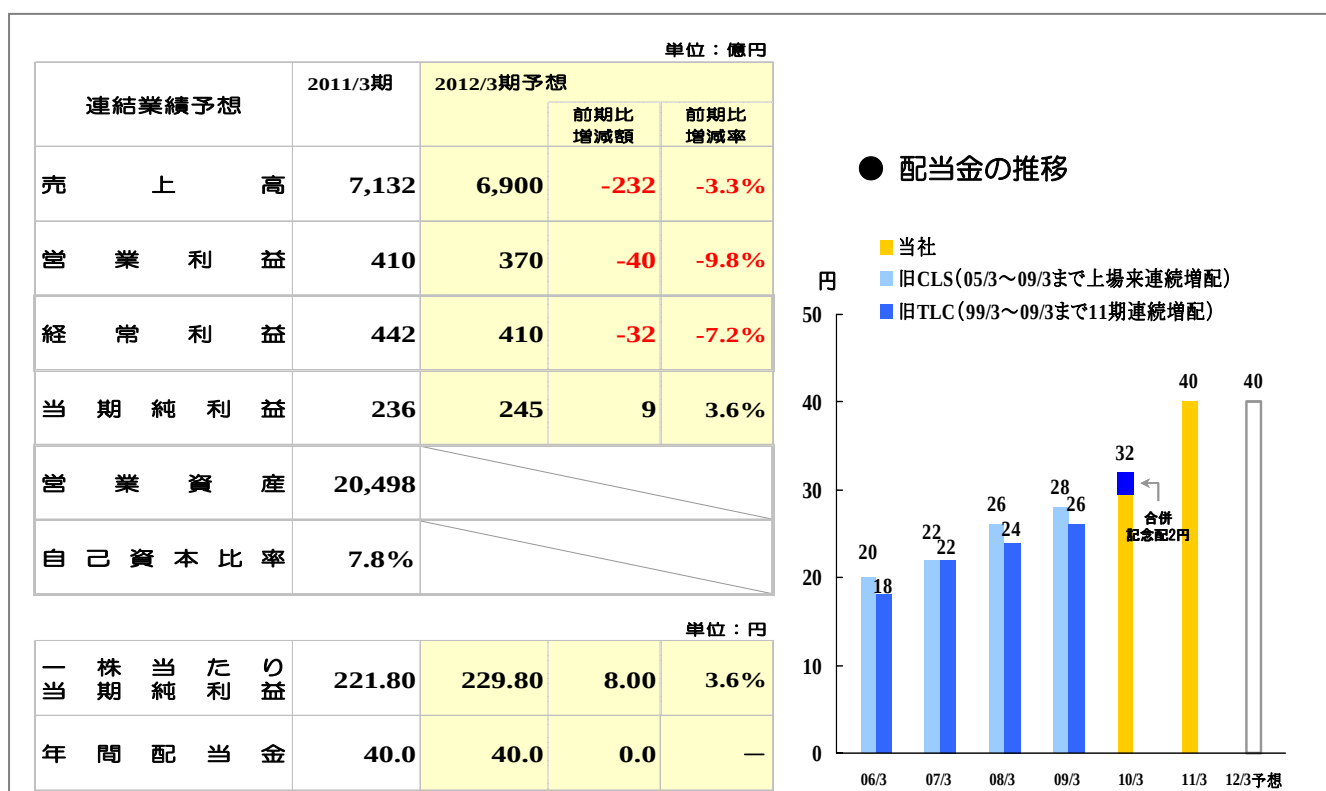
5. 営業の状況（連結）

- ・ 契約実行高が好調に推移し前期比 2,697 億円増加の 8,939 億円となったことに加え、第 2 四半期から連結化した株式会社 I H I ファイナンスサポートが貢献し、営業資産残高は前期末比 878 億円増加の 2 兆 498 億円となりました。



6. 2012 年 3 月期 連結業績予想

- ・ 2012 年 3 月期の連結業績予想は、東日本大震災関連の損失を相応に織り込んで貸倒費用を慎重に見積もったため、経常利益は前期比 7.2%減少の 410 億円ですが、特別損失が減少する見込みから当期純利益は同 3.6%増加の 245 億円を予想しています。



※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。

以 上